

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】スギの香りを活かした快適内装商品の開発

背景と目的

【背景】

- ・スギA材大径木の価格低迷による森林の荒廃対策
- ・徳島の強みである板材の製材、乾燥、プレカット技術

【目的】

- ・スギA材大径木製品の需要拡大

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- スギの香りを活かしたヒーリング・ウッド(仮称)の商品化
- ヒーリング・スペース(仮称)の企画・設計・試作

商品のイメージ



「ヒーリング・ウッド」
の商品化



「ヒーリング・スペース」の提案



事業実施主体

一般社団法人 徳島県木の家づくり協会

実施体制・連携グループ

- 森林経営・素材生産—TSウッドハウス協同組合
- 製材・製材品販売—那賀川すぎ共販協同組合
- プレカット—協同組合スーパーウッドシステム
- 大工工務店—協)スーパーウッドシステム、ハウスジー住宅センター(協)
- 建築企画設計—6人の建築設計士(徳島県木の家づくり協会賛助会員)
- 技術支援—九州大学農学研究院環境農学部、近畿大学産業理工学部
徳島県立農林水産総合技術支援センター 徳島県立工業技術センター

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①原料は80年生前後のスギ大径材
- ②徳島の強みを活かした大径材生産・厚板製材・プレカット技術で商品試作
- ③大学等との産学官連携で商品性能を“見える化”
- ④商品PR用パンフレットの作成
- ⑤各種イベントにて普及PR活動の実施
- ⑥成果報告会の開催



定期的な検討会による進捗管理

スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月	1月
第1回検討会	進捗会議	第2回検討会	進捗会議		第3回検討会
材料調達、委託契約	ヒーリング・ウッド試作	木づかいフェア	商品性能を見える化		成果報告会
		ヒーリング・スペース企画・設計			